

全部にチェックが付いたら環境構築は完了です。印刷して手元に置くか、チーム展開時の配布用にお使いください。

✓	ステップ	完了の条件（この状態になっていればOK）	詰まったら
☐	0. 事前準備	GA4を閲覧できるGoogleアカウントがある／管理者権限がない場合は依頼先を確認した	M1 全体像
☐	1. プロジェクト作成	Google Cloudの画面左上に、作成したプロジェクト名が表示されている	エラー1-1
☐	2. APIの有効化	Google Analytics Data API が「有効」になっている	エラー1-2 / 1-3
☐	3. サービスアカウント作成	~~@~.iam.gserviceaccount.com 形式のアカウントが一覧にある	エラー2-1
☐	4. 認証キーの取得	JSONキーファイルをダウンロードし、専用フォルダに保管した（共有・送信はしない）	エラー2-2 / 2-3
☐	5. GA4に権限付与	OAuth PlaygroundのPOSTで 200 OK が返り、GA4の「プロパティのアクセス管理」にサービスアカウントが「アナリスト」で表示されている	エラー3-1～3-4
☐	6. プロパティID取得	9桁の数値をメモした（G-やUA-で始まるIDではない）	エラー4-1
☐	7. Node.js導入	node --version でバージョン番号が表示される	エラー5-1
☐	8. Claude Desktop導入	Claude Desktopが起動し、ログインできている	エラー5-2
☐	9-1. 設定ファイル編集	3つの値（client_email／private_key／プロパティID）を置き換え、JSONLintで検証が通った	エラー6-1～6-3
☐	9-2. 完全終了→再起動	タスクマネージャー（Mac：Cmd+Q）で完全終了してから再起動した	エラー7-1
☐	9-3. コネクタ確認	コネクタ一覧に設定したサーバーが表示されている（設定→開発者で「running」）	エラー6-4
☐	9-4. 推奨設定	コネクタのツールを「RunReport」以外OFFにした	M1 STEP9
☐	10. 接続テスト	「接続したGA4のプロパティ名を教えて」に正しいプロパティ名が返ってきた	エラー8-1

セットアップ完了！ 次は「モジュール3：はじめての分析プロンプト20」の7日間プログラムへ。まず1日目の#1～5を実行してください。

完了日： 年 月
日

プロパティ名：

セットアップした人：

動かないときの調べる順番

① モジュール2巻頭「総合診断チャート」→② エラーメッセージがあれば巻末「逆引き一覧」→③ 数字が変なら第9章

チーム展開のときは

このリストを人数分印刷して配布。認証キーは共有せず各自発行（モジュール5のQ7）。分析ルールは共有はCLAUDE.md（モジュール4）で。

大事な注意

JSONキーファイルはGA4データへのアクセス権そのもの。メール・チャットで送らない／共有フォルダに置かない。